

光星 関西で初の練習試合



【大阪学院大高一八学光星】力のこもった投球で打者をねじ伏せる八学光星の岡本琉奨＝10日、大阪学院大高グラウンド

第96回選抜高校野球大会（セ・ンパツ）に出場する八学光星は10日、大阪府吹田市の大阪学院大高グラウンドで、関西入り後、初めての練習試合を行った。同校と宝塚西（兵庫）との2試合を実施し、結果は1勝1敗。選手たちはグラウンドでプレーする感覚を取り戻すとともに、一冬を越してチームや個人がどれだけ成長できたのかを確認した。

1試合目は大阪学院大高と対戦。エース洗平比呂、森田智晴、岡本琉奨の左腕3人が順番に登板した。それぞれ3回ずつ投げ、洗平は適時二塁打を浴びて1失点。森田は制球を乱し、押し出し四球などで2失点。岡本は全球をほぼ直球で挑み、無失点と好投した。

打線はトップバッターの砂子田陽士主将、3番竹田智紀の適時打で奪った得点にとどまり、



【宝塚西一八学光星】2本の適時打を放ち、好調をアピールした八学光星の阿部隼也

2-1で競り負けた。昨夏の甲子園も経験した岡本は「分かっていても打たれないストレートを目指しているので、今日は良かった」と収穫を強調。「初戦まで時間がない。試合を重ねてどんどん調子を上げていく。秋とは違う自分を見せたい」と意気込んだ。

2試合目は宝塚西と対戦し、主に控えメンバーが出場。10-0と五回コールドで快勝した。先発した鈴木朝日（三沢市出身）は、初回に3者連続三振を奪うなど上々の投球内容。攻撃では阿部隼也の2本の適時打、今西優斗の3点適時三塁打などで畳みかけた。

八学光星は今後も練習試合を重ね、関東第一（東京）との開幕試合（18日午前10時半開始予定）に臨む。

▽練習試合
大阪学院大高
0102000000
八学光星 0000002000
宝塚西（兵庫）
000000
八学光星 02215
（五回コールド）
100
23
（千葉達也）